

# 第33回全日本少年軟式野球大会 石川県予選 実施要項

- 1 主催 石川県野球協会
- 2 共催 石川県教育委員会 石川県中学校体育連盟
- 3 主管 石川県中学校体育連盟軟式野球競技部
- 4 後援 北國新聞社
- 5 会場 志雄運動公園野球場（羽咋郡宝達志水町吉野屋ヲ156） 0767-29-4239
- 6 会期 平成28年 6月4日(土) ※雨天予備日 6月5日(日)
- 7 出場チーム 加賀地区、能登地区よりそれぞれ2チーム計4チームとする。
- 8 出場資格
- (1) 春の加賀地区大会、能登地区大会のそれぞれ上位2チームとする。
- (2) 1チームのメンバーは、平成13年4月2日から平成16年4月1日までに生まれた中学校年齢の20名以内とすること。
- (3) チームの代表者を届け出ること。
- (4) 監督は、選手登録の枠外で登録することとし、背番号は30番とする。
- (5) 代表者及び監督は、原則として当該校の教員であること。
- (6) コーチを置く場合は、2名以内を選手登録の枠外で登録できることとし、背番号は1名の場合は29番、2名の場合は28番、29番とすること。
- (注) 細部については、全日本軟式野球連盟競技者必携に準ずる。
- 9 適用規則 2016年公認野球規則及び競技者必携に定める規則を適用する。
- 10 使用球 石川県野球協会公認球B号を使用する。
- 11 参加申込 出場資格を得たチームは、所定の申込用紙を5月31日(火)までに下記に必着させること。参加料は、当日持参すること。

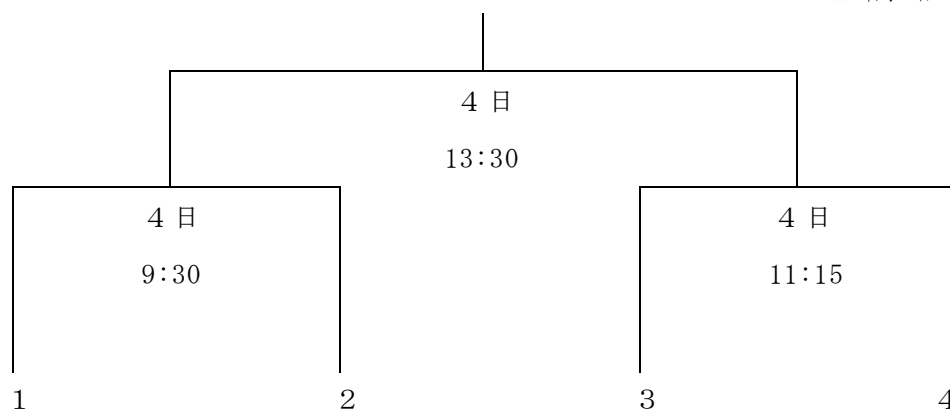
〒921-8155 金沢市高尾台1丁目128番地

山崎 多加佳 宛（石川県中体連軟式野球競技部専門委員長）

- 12 組合せ抽選 主管役員立ち会いのうえ、下記により代理抽選する。
- 実施日 平成28年6月1日(水)
- 場 所 金沢市立高尾台中学校
- ※加賀地区、能登地区のチーム同士が1回戦で対戦しないようにする。

石川県代表

※ 番号の若いほうが一塁側



### 13 競技方法

- (1) トーナメント方式とし、各試合は7イニングスとする。
- (2) 得点差によるコールドゲームは5回以降7点差とする。但し決勝戦は採用しない。
- (3) 日没及び降雨によるコールドゲームは、継続試合とする。
- (4) 準決勝の試合においては7回を終了して勝敗が決しないときは8回より特別ルールによる特別延長戦を行い、勝敗を決定する。決勝戦は、そのまま延長戦を9回まで行い、10回より特別延長戦を行う。

#### 【特別延長戦】

7回終了時の継続打順で無死満塁の状態にして1イニング行い、得点の多いチームを勝ちとする。(決勝戦は9回終了時の継続打順)

- (5) その他については別に定める。

### 14 表彰

優勝及び準優勝チーム (注) 優勝チームは下記の大会に出場すること。

北信越大会 6月25日(土)、26日(日) 富山県高岡西部総合運動公園野球場

### 15 参加料

16,000円

### 16 旅費・宿泊費

本大会における旅費・宿泊費は、全て参加チーム負担とする。

### 17 その他

- (1) 開会式は行わない。
- (2) 第1試合のチームは試合開始予定時刻の40分前、第2試合以降は前の試合の4回終了時に、監督・主将はさだめられた打順表に出場メンバーを記入して本部に提出し、照合を受けた後、攻守を決定する。(5部提出)
- (3) シートノックは5分とする。
- (4) 試合開始予定時刻前でも、前の試合が終了した後20分で次の試合を開始する。
- (5) 試合開始予定時刻になっても会場に来ないチームは、原則として棄権とみなす。
- (6) 小雨の場合でも球場使用可能な状態になれば、開始時刻を遅らせても試合を実施することがある。
- (7) 参加申込後は、選手の追加・変更及び背番号の変更は認めない。
- (8) 参加者は、全員傷害保険に加入しておくこと。
- (9) 出場選手は必ずユニホームに背番号をつけること。(1番より30番までの背番号以外は許されない。監督は30番、コーチは28・29番、主将は10番とする。)

(10) 打者，走者，ベースコーチとも公認マーク入りのヘルメットを着用すること。

(11) 捕手は，必ず公認マークの入ったマスク，ヘルメット，プロテクター，レガース及び急所（ファール）カップを着用する。マスクにはスロートガードを付けること。

(12) 監督が投手のところに行く回数の制限

- ① 監督が1試合に投手の所へ行ける回数は3回以内とする。なお，延長戦（特別延長戦も含む）は，2イニングに1回行くことができる。
- ② 「投手のところに行く」とは，監督がタイムをとってグラウンドに出て，投手または投手を含む野手が集まっている所で指示を与える状態を指す。投手の方からファールラインを超えて，監督の指示を受けた場合も同じとする。
- ③ 監督が，同一イニングに同一投手のところに行くか，行ったとみなされた場合（伝令を使うか，捕手または他の野手に指示を与えて直接投手のところへ行かせた場合）は，投手は自動的に交代しなければならない。

(13) 守備のタイムに関わる制限

- ① 捕手または内野手が1試合に投手の所へ行ける回数は3回以内とする。なお，延長戦（特別延長戦も含む）は，2イニングに1回行くことができる。
- ② 野手（捕手を含む）が投手のところへ行った場合，そこへ監督が行けば，双方1回として数える。逆の場合も同様とする。投手交代の場合は，監督のみ回数には含まない。

(14) 攻撃側のタイムの制限

攻撃側のタイムは，1試合に3回以内とする。なお，延長戦（特別延長戦も含む）は，2イニングに1回とする。

(15) 選手の使用する用具，装具の細部の規定については，県中体連の具体規約に準ずる。

- ① ヘルメットはSGマークのついた物を，チームとして色やデザインは同一の物を着用する。また，安全性が確保できないと判断された物（例：保護パット不装着，ひび割れ等）は使用できない。
- ② 捕手の装具は，連盟公認のマークのついた物を使用する。マスクでスロートガード一体型の場合は，スロートガードをつける必要はない。
- ③ 野球用の手袋は打者，走者，投手以外の守備に使用できる。リストバンドを兼ねたような物は禁止し，手首から先の物とする。色は白・黒等の単色のみとする。
- ④ レッグガード・エルボーガードは原則使用禁止とする。事情により使用を希望する場合は，メンバー用紙の交換時に大会本部に申し出て許可を得ること。
- ⑤ 滑り止めスプレーの使用を禁止する。
- ⑥ リストバンドは使用できない。また，サポーター（手首や指を固定，保護する目的の物）の使用は医療目的に限り，試合前に大会本部に申し出て許可を得ること。
- ⑦ グラブに刺繍で，個人名，番号，その他の文字を入れるなどしてはならない。

(16) 応援についても同様とし，太鼓等の鳴り物やブラスバンドの応援を認めないこととする。

(17) 本大会においては，投手の投球制限の規定は適用しないものとする。